

## ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：福山市

### 1 要旨

ひろしまの森づくり事業（交付金事業）を実施するにあたり、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」に基づき、森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取組を行い、福山市の里山林を取り巻く課題の解決を図る。

### 2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	手入れ不足の里山林や竹林が増加し、景観の悪化が生じている。	多くの人が利用する森林公園や地域の憩いの場となる森林の荒廃が進み、森林と触れ合う場所や機会が失われつつある。	多くの住民の利用促進に寄与する場所等について、地域が主体となった整備活動が展開されるよう取組の推進を図る。	市内森林公園や地域の憩いの場として整備すべき森林の整備を行い、住民が森林と触れ合う機会の創出を図る。
防災減災林（特認含む）	手入れ不足により公益的機能が損なわれ、災害の危険性がある里山林が増加している。	土砂災害危険区域や砂防指定地など住民に危険を及ぼす可能性のある森林が放置されている。	地域住民が主体となり、災害危険区域の適正管理を進め、地域全体が危機管理意識を持った森林管理の推進を図る。	災害危険区域流域の地域住民への普及啓発を図り、地域主体で森林整備を行う体制整備に向けた働きかけを行う。
地域資源活用林（特認含む）	地域の資源となっている森林の荒廃化が進み、若年層などが森林と触れ合う機会が失われている。	高齢化により担い手が不足しており、地域全体での実施体制の構築が難しくなっており、継続的な管理体制に不安がある。	地域資源を継続的に管理できる体制を整備するとともに、魅力発信につながる森林を目指す。	地域資源の整備を進める組織整備の推進を図り、持続的な活動に向けた支援や指導を行う。
環境緑化保全林				
鳥獣被害防止林				

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

### 3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容	
森林を守り育てる体制 森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等) (小規模林業経営者)  森林整備を助ける体制 (森林資源の継続的利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政面に不安を抱える団体が多く、補助事業を活用しながらでない継続した活動が困難な状況にある。(1団体)</li> <li>・地域住民が主体となった組織の設立が増加傾向にあるが、財政面に不安を抱える団体が多く、補助事業を活用しながらでない継続した活動が困難な状況にある。(3団体)</li> <li>・小規模林業経営者は該当者なし。</li> <li>・竹林をチップにし資源化を図っているが、安定的な需給体制が構築されておらず、継続的な利用促進が図られていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業を活用しながら、財源の主となる取組の検討を行うとともに、地域の中心となって森林整備に取り組む。</li> <li>・地域の課題、目指すべき姿などの目的を持ち、補助事業を活用しながら、地域の実情に応じた森林整備を行う。</li> <li>・森林資源の循環を生む経営者の創出。</li> <li>・地域からチップの買い取りを行い、各地域で竹林整備が積極的に行われ、放置された森林の減少を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山保全活用支援事業による財政支援を行い、継続的な活動の実施を促すとともに、市内全体を対象とした活動への発展を促す(2団体)</li> <li>・里山保全活用支援事業による財政支援を行い、継続的な活動の実施を促すとともに、森林林業体験活動支援事業による住民と森林のふれあいの機会を創出する。(10団体)</li> <li>・新たな担い手となりうる人材の発掘を図りながら、森林資源の循環を図りつつ、安定的な経営ができるよう支援を行う。</li> <li>・地域からチップを買い取る仕組みづくりについて検討する。</li> </ul>	
取組への理解促進	住民への説明  参加拡大による理解促進  事業の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に本事業の内容が周知されていない。</li> <li>・森林整備活動に必要な技能習得を目指している市民が多くいる。</li> <li>・市広報・HP・森林組合の総会などの媒体を利用して周知を行っているが、あまり事業が周知されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が本事業の内容について十分に理解している。</li> <li>・実施時期、内容など幅広く実施されており、参加者がそれぞれのレベルに合わせて参加できる講習会がある。</li> <li>・一目でどのような事業かが理解でき、実施を検討できる広報が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組意向のある地域を対象にした事業説明会を開催する。</li> <li>・年数回にわたって、異なる内容での講習会の実施を行う。</li> <li>・市HPなどの広報媒体の更新を行う。</li> </ul>